

かほく市社会福祉協議会 広報誌

# 社協だより

2012 No.18

みんなで築く地域福祉のまちづくり



## 「公民館へ寄らん会」

森区では、月1回住民が公民館に集まって、地域の団らんの場としていろいろな催しを行なっています

支えあい事業



## 内容

- 2 賛助会員の紹介「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指して
- 3 石川県社会福祉大会・かほく市社会福祉大会（報告）
- 4 ボランティア活動報告「かほくっ子ジュニアボランティア体験」
- 5 第1回障がい者スポーツ大会
- 5 ボランティアグループ紹介「かほく市ボランティア観光ガイド」
- 6 各団体の活動報告「みんな元気で輝いています」
- 6 共同募金情報「歳末たすけあい募金にご協力を」
- 7 民生委員児童委員情報
- 8 ご芳志ありがとうございました





# 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指して

かほく市社会福祉協議会では、賛助会員の加入をお願いしています。  
「地域の福祉向上に貢献したい」などのお考えがある企業等の皆さまに、  
社協会員として財政面から社協の福祉事業をサポートしていただいています。

ありがとう  
ございました



- 今村会計事務所 様
- 株式会社ヴァケーション 様
- 内潟自動車整備工場株式会社 様
- かほく市七塚女性会 様
- 河北ガス水道株式会社 様
- きくのもや薬局 様
- 岸設備工業株式会社 様
- エー自動車株式会社 様
- セレモニーステーション はまなす 様
- 東日本ツーリスト株式会社 様
- 松本自動車サービス株式会社 様
- 有限会社 森自動車 様
- N P O 法人 若葉 様

五十音順 (平成24年10月31日現在)

皆さまからの会費でおこなった地域福祉事業を紹介します。

「昔遊びを学んで遊ぼう！」  
これって難しいね

## 世代間交流事業

宇ノ気・大海学童保育クラブを  
利用する子どもたちと地域のおじ  
いちゃんおばあちゃん、昔遊び  
を通して交流を深めました。メン  
コやコマ、お手玉、福笑い、折り  
紙などで遊びながら、普段接する  
機会の少ない世代との交流を楽し  
んでいました。



「高齢者虐待を防止しよう！」  
支えは虐待している人にも

## 地域福祉推進研修会

高齢者虐待についての研修会を  
開催しました。生活のしづらさを  
かかえた本人や家族のSOSに身  
近な人として気づき、相談する。  
虐待かどうかの判断と対応は行政  
の責任であると事例を通じて学び  
ました。



## 賛助会員募集

引き続き、賛助会員を募集しています。協力いただきました会費は、社協が  
実施する福祉事業の財源として大切に活用させていただきます。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



報告



# 社会福祉大会が開催されました

## 石川県社会福祉大会

第61回石川県社会福祉大会が11月14日（水）石川県地場産業振興センター本館において、県内福祉関係者約600名が参加し開催され、その席上の方々が表彰を受けられました。

### 石川県知事表彰 5名

ボランティア活動者 池田 陽子

宮坂恵美子

榎原 文子

澤本 照子

社会福祉事業従事者 新甫 寛子

### 石川県社会福祉協議会 会長表彰 4名

ボランティア活動者 牟禮 澄子

室田美代子

山越 昭子

民生委員児童委員 中嶋 修

### 石川県民生委員制度 90周年記念県知事特別表彰

民生委員児童委員 井上 康夫

〔順不同、敬称略〕

## かほく市社会福祉大会

第9回かほく市社会福祉大会が10月23日（火）七塚健康福祉センターで、市内福祉関係者や市民210名が参加のもと開催されました。

### かほく市社会福祉協議会会長表彰 19名

社会福祉団体活動者

助実 久栄

村本 文雄

山田 孝子

濱谷 義則

酒井 静雄

猪村八重子

香林 清美

社会福祉団体活動者

香林美智子

気谷 邦雄

黒島 久江

田向 幸子

森 ヨネ子

盛一 外男

能任 瑞江

社会奉仕活動者

山口 恭子

加藤 伸一

一花 輝美

岡田 明子

黒川 綾子

〔順不同、敬称略〕

## 記念講演

「虐待のない関わり  
～虐待する人、される人を救うために～」



講師：  
会津大学短期大学部  
教授 市川 和彦 氏



熱弁を振るう市川氏

今大会の講演は、10月開設のかほく市障害者虐待防止センター事業とあわせて講演となりました。講師によると、虐待のきっかけは障がいのある方などに対して親や施設職員がついカッとなってしまうことが原因であり、感情をコントロールするためには自分自身を理解することが重要であると話されました。「鉄は熱いうちに打つな」自分が怒りそうな時は、いま怒りをあらわす時かどうかをまずは考えてみる、怒ってしまった時はその時のことをメモしておくことが有効であるとのことでした。



今年度は、「特別養護老人ホームことぶき園での夏祭りボランティア」、「かほく市身体障害者部会スポーツ大会での競技サポートボランティア」、「赤い羽根募金活動」に、市内の小学生が参加しました。

## 『一緒に楽しむ！』ボランティア活動

活動中にかけられた「ありがとう」の言葉が、子どもたちにはとても温かく感じられたようでした。「一緒に楽しむ！」こともボランティア活動には大切な要素です。そして、「やさしさを行動に！」移せるようみんなが心がけていくといいですね。

そんな子どもたちの感想を一部ご紹介します。

## 参加児童の感想

氏名 山下 朗史

かほく市障がい者交流スポーツ大会のボランティアに参加して、障がい者と仲良くなれたのでした。このボランティアが、あったら参加したいです。風船を飛ばして、ぼくたちはやらないのに、いっしょに楽しみたいです。

スカットボールでは、見ると時がかなり早かったと思って、いたり実をいやっていたらすごくむずかしかったです。

それから、会場で片付けで、ちやんと片付けができたので良かったです。

それから、障がい者といっしょに、たのしくいべれたので良かったです。

来年は、友だちもさそいたいです。

氏名 吉野 希菜

特別養護老人ホームでのボランティアは、初めてで少し緊張しました。はじめの説明で個人情報保護法という言葉を知りました。大切なことだと思いました。そのあと、夏祭りを使うヨウヨウやニャンワロウのうちわを作る作業をしました。利用者の人達のうちわを渡すと「ありがとう」「うれしい」と言われて、とてもうれしかったです。いっしょに歌をうたったり、おどったりすることができて、とても楽しかったです。最後の花火は、とてもきれいでした。色々な人と協力があって、楽しい夏祭りになりました。私のできることは、小さなことかもしれないけど、これからは自分のできることをすすんで、出来る様にしていきたいと思いました。また、参加したいです。

ことぶき園夏祭りにて、にやんたろうの手づくりうちわを利用者の方へお渡し、利用者の方とともに踊り、踊りにも加わりました。



身体障害者の方とふれあいながら各競技のお手伝いを、行い、同じチームの応援にも力が入りました。



障がい者交流スポーツ大会では、風船バレーとスカットボールの競技でのお手伝いをしました。



11月3日(土)生涯学習フェスティバルの会場で赤い羽根共同募金活動を行いました。募金金額は7,937円でした。



## 第1回障がい者交流スポーツ大会

市内の施設や団体から4チームが参加して、  
スポーツで交流を深めました。

社協では、かほく市内で日頃利用している施設や活動している団体の枠を超えて、スポーツを通じて交流や親睦を深めてもらうために、8月28日（火）に七塚健康福祉センターで「第1回障がい者交流スポーツ大会」を今年度初めて開催しました。この大会には、市内の施設、団体から計4チームが参加しました。参加者は、お互いに初めて顔を合わせる方が多く、最初は遠慮がちだったものの、競技が進むにつれて次第に笑みがこぼれたり、敵チームにも声援を送るなど、なごやかな雰囲気となっていました。この大会で、さらに交流の輪を広げるきっかけとしていただきたいと思います。

風船バレー競技



スカットボール競技



総合優勝チーム  
「りは友」



## 好きです！ボランティア

### ボランティアグループ紹介

#### かほく市ボランティア観光ガイド ～かほく夢案内スマイル～



かほく市の観光振興を目的に、また、自分達の住んでいる街の良さを内外の多くの方々にもっと知ってもらいたいという思いで、かほく市の街並み、史跡、特産品などを案内しております。毎月定例会を実施するなど活発に活動しておりますのでご関心のある方は是非ともお問い合わせください。

活動場所▼かほく市高松産業文化センター  
(定例会開催地)

連絡先▼かほく市商工会内 事務局

076-282-5661





# みんな元気で輝いています！

団体の活動を紹介

## リハビリ 友の会



### いつもと違う緊張感！！

9月7日、県主催「第26回加賀地区話し方大会」に宮野外茂男さんが「事故一瞬、怪我一生」と題して発表し「闘魂きらめき賞」を受賞しました。宮野さん聞き手にも配慮したゆつくりと丁寧な話し方にみなさん聞き入っていました。

### 楽しい交流のひとつき



河北台中学校のJRC委員と地域のおじいちゃんおばあちゃんが「バツゴー」を通じて交流を深めました。初めてのスポーツでしたが、歓声も上がり楽しい時間を過ごしました。競技終了後は一緒に会話をしながら、楽しく食事会もしました。

## 老人 クラブ

### 防災は日頃から

10月16日、かほく市赤十字奉仕団は、いつ起こるか分からない災害に備えて防災訓練を実施しました。今年度はテント設営・炊き出し実習の他、災害についての講習会を行いました。



## 赤十字 奉仕団

かほく市社会福祉協議会は各福祉団体の活動がきめ細かく推進できるように支援を行っています。

## 共同募金 情報

### 歳末たすけあい募金にご協力をお願いします



10月1日から「赤い羽根募金」が実施されています。また、12月1日からは「歳末たすけあい募金」が始まりました。

「歳末たすけあい募金」は、支援や援助を必要とされているかほく市内のご家庭、施設を利用されている方、障がいのある方や子供たちのために役立てられます。

みなさまのあたたかい善意をお願いします。



お問い合わせ 石川県共同募金会かほく市共同募金委員会（かほく市社会福祉協議会内）TEL：076-285-8885



民生委員児童委員活動事例紹介

楽しいめる交流場づくり「サロン」

「サロン」は地域に根ざした自由な活動です。身近な場で、皆さんが居心地よく楽しく集い、話して笑うことは、いきいきと暮らす秘訣です。



事例1 ちいママ喫茶「おはようさん」(肉高松)

7月開店して、ちいママ喫茶「おはようさん」は、民生委員と地域福祉推進員がスタッフとなり毎月第一水曜日に楽しめる交流の場を提供しています。  
「日中は一人でいる」「ゆつくり話をする場がない」という、声を受けて誰でも・いつでも・気兼ねなくをモットーにしています。飲み物を出すだけではなく、名札づくり、歌謡祭、ラジオ体操、絵本とお話会など、毎回の目玉となるような内容を実施しています。心と体が若返るようにと、テーマソングをきめて、皆で歌っています。お客さんは、おいしいお茶を飲みながら、笑ったり、おしゃべりしたり時のたつのを忘れ、親睦を深めています。「ありがたい、楽しかった。これからはよろしくね。」が、さようならの挨拶になっています。



事例2 トニートニートサロン(宇野気)

10月から毎月22日(にこにこ)に、昼食をかねてサロンが開かれています。「居場所づくりとして公民館を活用」との声に賛同し、民生委員を含めたボランティアスタッフが協力し、参加する皆さんの手作り感たっぷりサロンです。元気だけど、遠くにかけられない・・・、ちょっと時間が空いたとき・・・にこにこの日(22日)には、公民館で集い、和と輪が広がると素敵です。



平成23年度 民生委員児童委員活動状況

|                          | 年間数    | 委員一人あたり |
|--------------------------|--------|---------|
| 相談支援                     | 1,281件 | 15件/人   |
| ▶ 多くは生活環境における相談や日常的な支援です |        |         |
| その他の活動                   | 4,597件 | 54件/人   |
| ▶ 実態把握のための調査や、研修会等に参加します |        |         |
| 訪問回数                     | 9,168回 | 108回/人  |
| ▶ 子どものいる家庭にも訪問します        |        |         |
| 連絡調整回数                   | 2,159回 | 26回/人   |
| ▶ 必要なときは関係機関や委員間で連絡調整します |        |         |
| 年間活動日数                   | 7,558日 | 89日/人   |
| ▶ 活動はボランティアで、報酬はありません    |        |         |

この統計は民生委員児童委員が毎月提出された活動記録をもとに集計したものです。

表彰されました

全国民生委員児童委員連合会  
会長表彰

水上 幸夫

10月18日 全国民生委員児童委員大会  
大分県(別府国際コンベンションセンター)

厚生労働大臣表彰

高松地区民生委員  
児童委員協議会

11月16日 全国社会福祉大会  
東京都(日比谷公会堂)





認知症チェックをしてみましょう！

|                                            |    |     |
|--------------------------------------------|----|-----|
| ● 毎日1回以上、置き忘れがある ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○       | はい | いいえ |
| ● その日の朝食の内容(おかず)を思い出せない事がある                | はい | いいえ |
| ● 良く知っている道で迷ったことがある ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○    | はい | いいえ |
| ● 野菜の名前を10個以上言えない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○      | はい | いいえ |
| ● 火の不始末がある ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | はい | いいえ |
| ● 現在の総理大臣の名前が思い出せない ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○    | はい | いいえ |

脳の自己チェックリスト群馬県こころの健康センター宮永和夫所長考案

## 1つでも「はい」があれば要診断

- チェックリストだけでは認知症かどうか判断できませんが早めに専門の医師に相談することをお勧めします。
- 認知症の早期発見、早期治療は進行を遅らせることが出来る場合があります。

## 社協の介護保険サービス事業

### ● 居宅介護支援サービス

介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護サービスをご利用いただくための相談やケアプランの作成を行います。

### ● 訪問介護サービス

訪問介護員(ホームヘルパー)が高齢の方や障がいをお持ちの方のお宅を訪問して、生活援助サービスや身体介護サービスをご提供いたします。

お気軽にお問い合わせ、ご相談ください：TEL(076)285-2883 FAX(076)285-2885



## あたたかいご芳志ありがとうございました。

次のみなさまから福祉向上にとご寄付いただきました。(順不同) 平成24年7月1日～平成24年10月31日受付分

● かほく市まつり実行委員会 様 ● 有限会社 沢本シェル 様 ● 田井 勇太郎 様

次の方からプルタブ収集にご協力いただきました。

● 河北台中学校 様

ほか多くの市民のみなさまからプルタブや使用済み切手、使用済みインクカートリッジの収集にご協力いただきました。